

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年8月14日

**【四半期会計期間】** 第36期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

**【会社名】** 株式会社安楽亭

**【英訳名】** ANRAKUTEI Co.,Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 柳 時機

**【本店の所在の場所】** 埼玉県さいたま市中央区上落合二丁目3番5号

**【電話番号】** 048-859-0555(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役財務経理部長 安部 一夫

**【最寄りの連絡場所】** 埼玉県さいたま市中央区上落合二丁目3番5号

**【電話番号】** 048-859-0555(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役財務経理部長 安部 一夫

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第35期 第1四半期 連結累計期間		第36期 第1四半期 連結累計期間		第35期	
	自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年4月1日 平成25年6月30日	自 至	平成24年4月1日 平成25年3月31日
売上高 (千円)		3,872,024		4,270,992		16,183,883
経常利益又は経常損失( ) (千円)		32,578		139,623		235,604
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失( ) (千円)		79,653		108,958		306,562
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		89,911		100,139		324,816
純資産額 (千円)		4,636,522		5,149,959		5,049,979
総資産額 (千円)		13,772,570		13,725,878		13,927,931
1株当たり四半期(当期)純利益金額 又は四半期純損失金額( ) (円)		3.72		5.09		14.33
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)				5.00		14.07
自己資本比率 (%)		33.6		37.5		36.2

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第35期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新政権下における新たな経済・金融政策への期待感が高まり、景況感が徐々に改善したものの、消費税増税、欧州における経済不安、海外の景気減速懸念等もあり、先行きは引き続き不透明感が残る状況であります。

外食産業におきましても、消費マインドが改善の兆しを見せているものの、業種業態を超えた顧客確保の競争は激しさを増しており、経営環境は依然として厳しい状態が続いております。

このような状況の下、当社グループの主力である焼き肉業界は近場のレジャーとしての需要が高まり順調に推移いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高42億70百万円（対前年同期比10.3%増）、営業利益1億53百万円（前年同期は10百万円の損失）、経常利益1億39百万円（前年同期は32百万円の損失）、四半期純利益1億8百万円（前年同期は79百万円の損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 安楽亭業態

安楽亭業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は199店舗であります。内訳は直営160店舗、暖簾5店舗、FC34店舗であります。

販売促進並びに商品開発につきましては、「笑顔満開フェア!」、「わいわい!GWおでかけクーポンフェア」、「スポーツ家族応援フェア」等、安楽亭の楽しさを伝えるフェアや期間限定のマンゴーデザート等のメニュー作りを行ってまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は36億34百万円（対前年同期比10.7%増）となり、セグメント利益（営業利益）は2億45百万円（対前年同期比136.3%増）となりました。

#### 七輪房業態

七輪房業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は23店舗であります。内訳は直営21店舗、FC2店舗であります。

販売促進並びに商品開発につきましては、「春のお祝い祭り」、「初夏の行楽焼肉フェア」、「生ビールチャレンジ祭」等、七輪房の楽しさを伝えるフェアを開催してまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は4億88百万円（対前年同期比9.8%増）となり、セグメント利益（営業利益）は42百万円（対前年同期比59.9%増）となりました。

## その他業態

その他業態の当第1四半期連結会計期末の店舗数は16店舗であります。内訳は、暖簾1店舗を直営化した結果、直営9店舗、暖簾1店舗、FC6店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「楽コンセプト（焼肉）」、「まんぼく（焼肉）」、「国産牛カルビ本舗安楽亭（焼肉）」、「和牛カルビ屋（焼肉）」、「春秋亭（和食）」、「上海菜館（中華）」、「龍饗（中華）」、「カフェビーンズ（喫茶）」、「AGRICOCO（イタリアンカフェ）」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は1億47百万円（対前年同期比3.7%増）となり、セグメント損失（営業損失）は2百万円（前年同期はセグメント損失13百万円）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ2億2百万円減少し、137億25百万円となりました。これは主に、現金及び預金や売掛金が減少したこと、有形固定資産の減価償却等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ3億2百万円減少し、85億75百万円となりました。これは主に、借入金の減少、未払法人税等の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ99百万円増加し、51億49百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上によるものです。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	21,504,347	21,504,347	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株 であります。
計	21,504,347	21,504,347		

(注) 提出日現在発行数には、平成25年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日		21,504,347		3,182,385		147,735

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 111,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 21,206,000	21,206	
単元未満株式	普通株式 187,347		一単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	21,504,347		
総株主の議決権		21,206	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式437株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社安楽亭	埼玉県さいたま市中央区 上落合2-3-5	111,000		111,000	0.52
計		111,000		111,000	0.52

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人アヴァンティアによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,349,391	1,329,462
受取手形及び売掛金	349,778	281,366
商品及び製品	99,118	110,742
仕掛品	877	1,962
原材料及び貯蔵品	230,831	295,845
前払費用	202,822	199,509
繰延税金資産	78,741	72,875
その他	175,260	91,750
<b>流動資産合計</b>	<b>2,486,822</b>	<b>2,383,514</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	2,399,785	2,344,904
機械装置及び運搬具（純額）	17,193	23,554
工具、器具及び備品（純額）	180,193	168,696
土地	5,627,685	5,627,685
リース資産（純額）	20,393	18,799
<b>有形固定資産合計</b>	<b>8,245,251</b>	<b>8,183,640</b>
無形固定資産	103,027	104,549
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	82,914	74,393
長期貸付金	883,532	871,272
長期前払費用	23,188	27,093
繰延税金資産	10,065	9,894
敷金及び保証金	2,765,966	2,744,859
その他	63,935	63,224
貸倒引当金	736,772	736,563
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>3,092,830</b>	<b>3,054,173</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>11,441,109</b>	<b>11,342,364</b>
<b>資産合計</b>	<b>13,927,931</b>	<b>13,725,878</b>



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	526,125	488,837
短期借入金	6,145,601	5,940,397
リース債務	8,875	8,875
割賦未払金	6,961	1,764
未払金	249,297	258,729
設備関係未払金	19,092	20,898
未払費用	495,523	531,609
未払法人税等	123,561	34,524
未払消費税等	94,716	80,062
賞与引当金	64,124	42,062
転貸損失引当金	3,217	3,217
その他	497,673	512,552
流動負債合計	8,234,770	7,923,530
固定負債		
リース債務	21,901	19,682
長期割賦未払金	389	7,569
繰延税金負債	116,278	116,545
退職給付引当金	133,637	134,962
役員退職慰労引当金	270,791	274,249
転貸損失引当金	28,149	27,345
その他	72,034	72,034
固定負債合計	643,180	652,389
負債合計	8,877,951	8,575,919
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,537,261	2,537,261
利益剰余金	602,977	494,019
自己株式	67,273	67,273
株主資本合計	5,049,395	5,158,354
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,116	14,935
その他の包括利益累計額合計	6,116	14,935
新株予約権	6,700	6,540
純資産合計	5,049,979	5,149,959
負債純資産合計	13,927,931	13,725,878

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	3,872,024	4,270,992
売上原価	1,409,270	1,558,141
売上総利益	2,462,753	2,712,851
販売費及び一般管理費	2,473,115	2,559,701
営業利益又は営業損失( )	10,361	153,149
営業外収益		
受取利息	8,404	8,129
受取配当金	983	990
受取地代家賃	2,671	2,764
貸倒引当金戻入額	158	179
その他	9,560	13,865
営業外収益合計	21,779	25,929
営業外費用		
支払利息	40,787	36,487
その他	3,208	2,967
営業外費用合計	43,995	39,455
経常利益又は経常損失( )	32,578	139,623
特別利益		
固定資産売却益	476	-
特別利益合計	476	-
特別損失		
固定資産除却損	7	1,671
減損損失	23,632	-
賃貸借契約解約損	4,632	174
特別損失合計	28,272	1,846
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	60,375	137,777
法人税、住民税及び事業税	16,620	22,781
法人税等調整額	2,657	6,037
法人税等合計	19,277	28,818
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	79,653	108,958
四半期純利益又は四半期純損失( )	79,653	108,958

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	79,653	108,958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,257	8,819
その他の包括利益合計	10,257	8,819
四半期包括利益	89,911	100,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	89,911	100,139

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対して、次のとおり債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)	
(株)書楽	200,777千円	(株)書楽	195,440千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	86,333千円	87,301千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	(単位:千円) 四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,284,392	445,327	142,303	3,872,024	3,872,024		3,872,024
セグメント間の内部 売上高又は振替高							
計	3,284,392	445,327	142,303	3,872,024	3,872,024		3,872,024
セグメント利益又は 損失( )	103,963	26,819	13,991	116,792	116,792	127,154	10,361

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては116千円であります。

報告セグメントに帰属しない全社資産について、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては23,516千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	(単位:千円) 四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,634,680	488,787	147,525	4,270,992	4,270,992		4,270,992
セグメント間の内部 売上高又は振替高							
計	3,634,680	488,787	147,525	4,270,992	4,270,992		4,270,992
セグメント利益又は 損失( )	245,673	42,887	2,933	285,627	285,627	132,478	153,149

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金額( )	3円72銭	5円09銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 又は四半期純損失金額( )(千円)	79,653	108,958
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額( )(千円)	79,653	108,958
普通株式の期中平均株式数(株)	21,395,348	21,392,910
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		5円00銭
(算定上の基礎)		
普通株式増加数(株)		377,064
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 前第1四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月13日

株式会社 安楽亭  
取締役会 御中

### 監査法人アヴァンティア

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 小笠原直 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 木村直人 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社安楽亭の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社安楽亭及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が四半期連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。